

製品名: TLR2 (15K3) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe18986**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:20-1:50
分子量	90kDa

抗原情報

遺伝子名	TLR2
別名	TLR2; CD282; TIL4; Toll-like receptor 2; Toll/interleukin-1 receptor-like protein 4;
遺伝子 ID	7097.0
SwissProt ID	O60603
免疫原	ヒト TLR2 の合成ペプチド

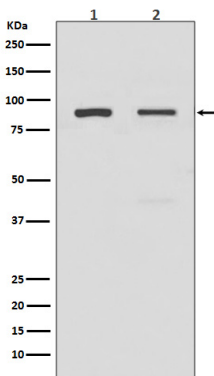
背景

Toll様受容体 (TLR) ファミリーのメンバーは、ショウジョウバエの近縁種の Toll 受容体にちなんで名付けられ、自然免疫応答において極めて重要な役割を果たしています (1-3)。TLRは、さまざまな病原体に見られる保存されたモチーフを認識し、防御応答を媒介します。TLR 経路が誘発されると、NF- κ B が活性化され、続いて免疫遺伝子と炎症性遺伝子が制御されます。LY96 と協力して、細菌リポタンパク質やその他の微生物細胞壁成分に対する自然免疫応答を媒介します。TLR1 または TLR6 と協力して、細菌リポタンパク質またはリポペプチドに対する自然免疫応答を媒介します (PubMed: 21078852、PubMed: 17889651)。MYD88 および TRAF6 を介して作用し、NF- κ B の活性化、サイトカイン分泌、炎症反応を引き起こします。リポタンパク質の脂質部分に反応して免疫細胞を活性化し、アポトーシスを促進する可能性もある (PubMed:10426995、PubMed:10426996)。マイコプラズママクロファージ活性化リポペプチド-2kD (MALP-2)、可溶性結核因子 (STF)、フェノール可溶性モジュリン (PSM)、および *B.burgdorferi* 外表面タンパク質 A リポタンパク質 (OspA-L) を TLR6 と協調的に認識する (PubMed:11441107)。M.tuberculosis PstS1 による *in vitro* 単球刺激は、主にこの受容体を介して p38 MAPK および ERK1/2 の活性化を誘導するが、部分的に TLR4 を介しても活性化する (PubMed:16622205)。細菌ペプチドグリカンに反応して MAPK が活性化されるのもこの受容体を介して起こる (PubMed:16622205)。M.tuberculosis のリポタンパク質 LprA、LprG、LpqH、および PstS1 の受容体として作用する。一部のリポタンパク質は他の共受容体 (TLR1、CD14、および/または CD36) に依存する。これらのリポタンパク質は、病原体に対する抗原提示細胞の機能を調節するアゴニストとして作用する (PubMed:19362712)。M.tuberculosis の HSP70 (dnaK) は、HSP65 (groEL-2) とは異なり、このタンパク質を介して NF- κ B の発現を刺激する (PubMed:15809303)。M.tuberculosis の主要 T 抗原 EsxA (ESAT-6) を認識し、下流の MYD88 依存性シグナル伝達を阻害する (マウスで表示) (類似性による)。リガンドに応じて複数の受容体からなる活性化クラスターを形成し、これらのクラスターは細胞表面からのシグナル伝達を誘導し、その後、脂質ラフト依存性経路によってゴルジ体へと誘導されます。ジアシル化リポペプチドに反応して TLR2:TLR6:CD14:CD36 のクラスターを、トリアシル化リポペプチドに反応して TLR2:TLR1:CD14 のクラスターを形成します (PubMed:16880211)。M.tuberculosis の正常な取り込みに必須であり、このプロセスは M.tuberculosis LppM によって阻害されます (類似性による)。

研究分野

-

画像データ



(1) A549 細胞溶解物、(2) HeLa 細胞溶解物における TLR2 発現のウエスタンブロット解析。